



梶邑きらきらだより



「Challenge (チャレンジ) !」
「Colorful is wonderful (カラフル イズ ワンダフル) !」

梶邑小学校 検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>

真庭市立梶邑小学校
第34号
令和6年12月12日
校長 山本 信子 発行

人権週間の取組

～12月5日(木)～12月18日(水)～



梶邑小学校では、12月18日(水)までを校内人権週間とし、様々な取組を通して、人権について考えています。

12月5日(木)の人権集会では、4・5年生の委員会メンバーが準備と役割分担をして、会を進行してくれました。玄関奥には『ふわりんツリー』も登場!「〇〇してくれてありがとう」等、ふわふわ言葉を使い、友だちに感謝の気持ちを贈るハートカードをツリーに飾っていきます。日に日にハートが増え、ツリーもどんどん綺麗になっています。この週間を通して、お互いに感謝の気持ちが伝えられるといいです。



梶邑小学校 児童会「善行少年表彰(団体)」を受けました

12月6日(金)、真庭警察署で表彰式があり、児童会を代表して、5年大塚ひろさん、河野美咲さんが、賞状と盾を受け取ってくれました。この表彰は、全校児童で毎年地域のクリーン作戦(ごみ拾い)を毎年行っていること、また、その活動を告知放送で呼びかけ、地域の方と一緒に行うことができていること、梶邑きらきら学習で地元住民が笑顔で元気に暮らせることを願い、イベントや高齢者宅訪問、ミュージアムの開催等の企画・運営を行っていること、取組が評価されました。「児童会の取組は、地域の活性化にもつながっており、児童らの責任感、行動力は目を引くものでその行動は善行で他の模範となるもの。」と、受賞理由に記載されていました。とても嬉しいことです。今回表彰していただけたのも子どもたちの頑張りはもちろんのこと、いつも温かく活動を見守り、支えてくださっている保護者・地域の皆様のおかげだと心から感謝しています。ありがとうございます。

玄関奥に飾っていますので、ご来校の際には、ぜひご覧になってください。



世界エイズデー 12月1日は「世界エイズデー」。次の日12月2日(月)に保健の安慶名先生が、エイズとはどのような病気か、エイズによる差別のこと等、子どもたちにわかりやすく話をしました。1階廊下に、レッドリボンが貼られたクリスマスツリーが掲示されています。エイズとともに生きる人々を差別せず、助け合いたいというメッセージ、世界にたった一人しかいない自分と周りの人の体・命・心を大切にしたいお互い助け合って仲良くしたい気持ちを込めたレッドリボンです。





朝のトークタイムで ～ テーマは「制服」～

毎週水曜日の朝の時間は、全校で行う「トークタイム」。「話す・聞く」を中心に全校で行う対話の時間です。テーマによって同じ考えの人が集まって話すこともあれば、全員で話すこともあります。

12月11日(水)のトークタイムのテーマは「制服」でした。制服があった方がいいか、ない方がいいか、どちらかに決めて、その理由について話しました。どちらにもメリット・デメリットがあり、決めるのが難しい!という人も。その気持ち、わかります。しかし、今回はどちらかに決めて、対話をしました。9名中、3名が「あった方がいい」、6名が「ない方がいい」。出された意見を紹介しますと……。

【あった方がいい】

- ・あってもいいけど、着なくてもいい。(いろいろな人のことを考えると、決まっているものがあった方がいいんじゃないかな。でも着なくてもいいという自由さがある。) (いい)
- ・その学校のことを思い出しやすい。(制服を見ると、着ていた時のことを思い出することができる。)
- ・ジェンダー平等。(ジェンダー平等を考えた制服があるという記事を見た。選んで着られるのは良いこと。着なくてもいいという自由もあったらいい。)
- ・洗わないといけない。(制服を毎日洗うのは大変。2着制服があるといいのかな。)

【ない方がいい】

- ・みんな同じだと自分の服かわからなくなる。いろいろな人の服と間違えるかも。(この前も体操服がチェンジしていた。)
- ・制服だと体温管理ができない。(私服だと自分の体調にあった服が着られる。)
- ・制服がなかったら自分の好きな服にできる。(気分によっても変えることができる。)
- ・着心地がいい。(自分にあった服だし、いつも着ている服だから。)
- ・制服だと慣れていない。(私服は毎日着ているから慣れている。)



子どもたちってすごいなああと改めて感じました。自分の考えがあること、それを言えることも素晴らしい。高校生まで制服が当たり前の中で育ってきた私は、制服について深く考えたこともなかったです。予測困難な時代だからこそ、制服のことに限らず、自分の考えを持つことの大切さを、強く感じます。また、伝えにくそうな友だちがいると、「こういうこと?」と他の友だちが自然にサポートする、そんな姿を見ていると、人と協働して学ぶことの素晴らしさも感じさせてもらっています。子どもたちが持っている素晴らしい力を引き出していけるよう、支援のしかたを学び続けたいと感じた朝のトークタイムの時間でした。

地域の方に支えられて ～いつもありがとうございます～

松本様より手作りのアンパンマンマスコットをいただきました。その時の気分をアンパンマンの顔で表すことができるように、顔の表情も何種類か作っていただきました。大人が見ても触っても癒やされるアンパンマンです。1階廊下に展示しています。

永田様より生花と粘土細工のシクラメンをいただきました。繊細な粘土細工に見てうっとりします。本物そっくりなので、粘土細工と気づいておられない方も。玄関に飾っています。ぜひご覧になってください。

地域の方の温かい気持ちに支えられて、過ごせていることに深く感謝いたします。

